

学校教育



1. 市立小・中学校の概要

2014年5月1日現在、町田市には42校の市立小学校と20校の市立中学校（うち小中一貫校1校）があります。

学校一覧、学級編制、児童・生徒数及び学級数、通学区域並びに通学区域緩和制度については、次のとおりです。

(1) 学校一覧

① 小学校

(2014年5月1日現在)

No.	学校名	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
1	町田第一小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida1/	中町 1-20-30	722・3105	明 6. 5. 1	6月11日	宮島 徹
2	町田第二小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida2/	原町田 4-26-40	722・3316	昭 27. 4. 1	6月25日	菅谷万里子
3	町田第三小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida3/	本町田 1212	722・3329	昭 27. 4. 1	6月10日	黒沢志津夫
4	町田第四小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida4/	森野 2-21-28	722・3727	昭 30. 4. 1	6月15日	丸 節子
5	町田第五小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida5/	玉川学園 4-14-7	725・8178	昭 38. 4. 1	6月1日	樋口 明
6	町田第六小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida6/	南大谷 1260	722・3659	昭 40. 4. 1	6月1日	武藤 雄丈
7	南大谷小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-minamioya/	南大谷 811-1	725・2551	昭 49. 4. 1	6月10日	西岡 郁雄
8	藤の台小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-fujinodai/	金井町 3040-15	726・1005	昭 48. 4. 1	6月1日	山下 勝弘
9	本町田東小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-honmachida-e/	本町田 3350	722・8193	昭 45. 4. 1	6月22日	宮崎倉太郎
10	本町田小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-honmachida/	本町田 2032	721・5561	平 14. 4. 1	6月24日	渡辺 恒彦
11	南第一小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-minami1/	鶴間 187	795・2274	明 6. 6. 10	6月10日	佐野 友隆
12	南第二小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-minami2/	成瀬 7-11-1	727・0805	明 6. 6. 1	6月1日	中村 雄一

13	南第三小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minami3/	金森東 1-2-1	722・2663	昭 33. 4. 1	6 月 2 日	吉田 孔一
14	南第四小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minami4/	金森東 3-21-1	796・1326	昭 43. 4. 1	5 月 21 日	宇田 陽一
15	つくし野小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsukushino/	つくし野 2-21-11	795・3295	昭 47. 4. 1	5 月 27 日	金子 謙
16	小川小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-ogawa/	小川 3-10-1	795・0002	昭 50. 4. 1	6 月 9 日	中田 和夫
17	成瀬台小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-narusedai/	成瀬台 2-5-2	723・3001	昭 50. 4. 1	6 月 10 日	櫻井 幹也
18	鶴間小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsuruma/	鶴間 1083	796・1951	昭 52. 4. 1	6 月 9 日	小林 光市
19	高ヶ坂小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-kougasaka/	高ヶ坂 6-7-1	725・4295	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	原田 好美
20	成瀬中央小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-narusechuo/	成瀬 2-8	728・6020	昭 54. 4. 1	6 月 10 日	大泉 永
21	南成瀬小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minaminaruse/	南成瀬 3-6	726・1080	昭 55. 4. 1	6 月 16 日	中山 晴義
22	南つくし野小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-minamitukusino/	南つくし野 2-4-8	796・1950	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	秋元みさ子
23	鶴川第一小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsurukawa1/	野津田町 1290	735・1234	明 41. 4. 1	10 月 6 日	村上 貞司
24	鶴川第二小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsurukawa2/	能ヶ谷 7-24-1	735・5498	昭 39. 5. 1	5 月 1 日	後藤 良秀
25	鶴川第三小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsurukawa3/	鶴川 6-5	735・2127	昭 43. 1. 8	10 月 2 日	貝原 俊明
26	鶴川第四小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-tsurukawa4/	鶴川 3-22	735・2868	昭 46. 4. 1	6 月 20 日	山崎 聡
27	金井小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-kanai/	金井町 2612-183	735・0010	昭 53. 4. 1	6 月 1 日	清水 淳
28	大蔵小学校 http://www.machida-tyky.ed.jp/e-okura/	大蔵町 286	734・2321	昭 55. 4. 1	6 月 16 日	麻生 豊

29	三輪小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-miwa/	三輪町 330-1	044・988・ 5214	昭 57. 4. 1	6 月 7 日	増川 知子
30	忠生小学校 (旧忠生第一小学校) http://www.machida-ky.ed.jp/e-tadao1/	忠生 3-10-2	791・1021	大元. 9. 1	6 月 13 日	池田 雅志
31	小山田小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyamada/	上小山田町 614	797・1824	昭 27. 5. 20	5 月 20 日	富田 逸夫
32	忠生第三小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-tadao3/	木曾東 3-11-3	791・0721	昭 37. 4. 1	6 月 12 日	西久保律子
33	山崎小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-yamasaki/	忠生 2-15-26	793・2004	昭 55. 4. 1	6 月 10 日	伊藤 昌克
34	小山田南小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyamadaminami/	小山田桜台 2-7	797・4541	昭 59. 4. 1	5 月 30 日	松本 啓吾
35	木曾境川小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-kisosakaigawa/	木曾西 1-9-1	791・2086	平 13. 4. 1	11 月 1 日	宇賀神礼子
36	七国山小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-nanakuniyama/	山崎町 1314-2	791・2171	平 15. 4. 1	6 月 23 日	山本 弘明
37	図師小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-zushi/	図師町 239-19	789・6361	平 21. 4. 1	1 月 30 日	北澤 正博
38	小山小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyama/	小山町 944	797・2733	明 6. 5. 1	5 月 1 日	篠田 康昌
39	小山ヶ丘小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyamagaoka/	小山ヶ丘 5-37	770・6251	平 17. 4. 1	11 月 12 日	室屋 憲一
40	小山中央小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-oyamagaoka/	小山ヶ丘 3-7-1	798・0670	平 22. 4. 1	1 月 29 日	岡部ひとみ
41	相原小学校 http://www.machida-ky.ed.jp/e-aihara/	相原町 1673	771・2341	明 7. 7. 20	6 月 20 日	小林 憲市
42	大戸小学校 (小中一貫ゆくのき学園) http://www.machida-ky.ed.jp/e-ohito/	相原町 3765-3	782・9091	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	守屋 裕一

② 中学校

(2014年5月1日現在)

No.	学校名	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
1	町田第一中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida1/	中町1-27-5	722・2420	昭22.4.1	5月26日	花田 英樹
2	町田第二中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida2/	南大谷1327	722・1101	昭32.4.1	5月6日	富田 直人
3	町田第三中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/	本町田1853	722・6095	昭43.4.1	5月27日	風間 茂
4	南大谷中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minamiooya/	南大谷985-1	723・5567	昭50.4.1	5月27日	千田 実
5	南中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minami/	金森3-27-1	796・2248	昭22.4.1	5月1日	有賀 章
6	つくし野中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsukushino/	南つくし野2-14-2	795・0323	昭50.9.1	9月30日	天利 公一
7	成瀬台中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-narusedai/	成瀬台2-5-1	728・6030	昭54.4.1	5月26日	石上 昌弘
8	南成瀬中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-minaminaruse/	南成瀬7-7-1	729・3441	昭57.4.1	6月1日	吉川 篤
9	鶴川中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsukurukawa/	小野路町1905-1	735・2405	昭22.4.1	5月1日	岩田 敏行
10	鶴川第二中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tsukurukawa2/	鶴川6-4	734・4343	昭48.4.1	6月1日	栗野 正石
11	薬師中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-yakushi/	金井1-20-1	725・5002	昭46.4.1	6月1日	布施 洋輔
12	真光寺中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-shinkoji/	真光寺3-8-1	734・4605	昭55.4.1	5月1日	高橋 洋文
13	金井中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-kanai/	金井6-15-1	734・0259	昭59.4.1	6月1日	奥山 拓雄
14	忠生中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-tadao/	忠生3-14-1	791・0821	昭22.4.1	5月1日	大石 龍
15	山崎中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-yamasaki/	山崎町1445	793・1021	昭54.4.1	6月2日	萩原 和彦

16	木曽中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-kiso/	木曽西 2-4-9	792・3081	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	山口 好司
17	小山田中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-oyamada/	小山田桜台 1-12	797・4545	昭 59. 4. 1	6 月 25 日	橋本 雅彦
18	小山中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-oyama/	小山ヶ丘 1-2-4	798・1251	平 24. 4. 1	1 月 11 日	大川 武司
19	堺中学校 http://www.machida-ky.ed.jp/j-sakai/	相原町 752	771・2348	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	比良田健一
20	武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園) http://www.machida-ky.ed.jp/j-musashioka/	相原町 3865	782・9155	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	守屋 裕一

(2) 学級編制

小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、教育委員会が定める「学級編制基準」に従い、行うことになっています。

町田市では、1985年度まで小・中学校全校において全学年が「45人学級」で編制されていましたが、小学校においては1986年度から、中学校においては1989年度から、それぞれ第1学年が「40人学級」となり、1991年度からは、小・中学校の全学年が「40人学級」で編制されることになりました。

以後、この「40人学級」での編制が続きましたが、2011年4月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011年度から、小学校第1学年においては「35人学級」編制となりました。

また、2012年度から小学校第2学年、2013年度から中学校第1学年においても「35人学級」編制となりました。

(3) 児童・生徒数及び学級数

市制が施行された1958年は、人口60,957人、小学校12校で児童数8,766人、中学校6校で生徒数3,460人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距离であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ1960年代後半から1980年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は1980年に36,928人(41校)、生徒数は1985年に17,689人(20校)と、それぞれピークに達しました(児童・生徒総数のピークは1982年の51,769人)。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は2001年度、生徒数は2006年度から再び増加傾向となりました。さら

に、区画整理事業による市内周縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。しかし、2011年度以降、児童数が再び減少傾向に転じています。

2014年度の学級数及び児童・生徒数は、5月1日現在、小学校においては、通常学級724学級、児童数23,020人、特別支援学級53学級、児童数332人となっており、中学校においては、通常学級294学級、生徒数10,576人、特別支援学級29学級、生徒数184人となっています。



2014年5月1日 児童・生徒数/学級数(通常学級)

	児童・生徒数							学級数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
1	町田第一小学校	98	100	102	101	88	105	594	3	3	3	3	3	3	18
2	町田第二小学校	63	74	52	62	64	81	396	2	3	2	2	2	2	13
3	町田第三小学校	93	62	91	81	92	83	502	3	2	3	2	3	3	16
4	町田第四小学校	102	100	96	86	99	102	585	3	3	3	3	3	3	18
5	町田第五小学校	94	88	76	74	94	100	526	3	3	2	2	3	3	16
6	町田第六小学校	38	57	66	51	63	60	335	2	2	2	2	2	2	12
7	南大谷小学校	122	108	88	106	72	97	593	4	4	3	3	2	3	19
8	藤の台小学校	103	89	104	93	88	98	575	3	3	3	3	3	3	18
9	本町田東小学校	35	38	53	56	70	67	319	1	2	2	2	2	2	11
10	本町田小学校	68	63	77	88	84	92	472	2	2	2	3	3	3	15
11	南第一小学校	89	91	90	67	94	97	528	3	3	3	2	3	3	17
12	南第二小学校	61	68	73	50	80	67	399	2	2	2	2	2	2	12
13	南第三小学校	57	57	65	64	93	83	419	2	2	2	2	3	3	14
14	南第四小学校	85	71	83	86	81	80	486	3	3	3	3	3	2	17
15	つくし野小学校	65	65	65	60	77	81	413	2	2	2	2	2	2	12
16	小川小学校	94	77	100	105	108	101	585	3	3	3	3	3	3	18
17	成瀬台小学校	97	102	118	98	126	116	657	3	3	3	3	4	3	19
18	鶴間小学校	78	101	82	73	90	94	518	3	3	3	2	3	3	17
19	高ヶ坂小学校	53	56	63	66	66	54	358	2	2	2	2	2	2	12
20	成瀬中央小学校	53	31	29	37	31	37	218	2	1	1	1	1	1	7
21	南成瀬小学校	83	69	86	100	95	89	522	3	2	3	3	3	3	17
22	南つくし野小学校	112	102	124	120	134	132	724	4	3	4	4	4	4	23
23	鶴川第一小学校	122	165	131	141	131	110	800	4	5	4	4	4	3	24
24	鶴川第二小学校	92	103	92	100	105	125	617	3	3	3	3	3	4	19
25	鶴川第三小学校	83	83	91	105	94	99	555	3	3	3	3	3	3	18
26	鶴川第四小学校	117	108	108	146	143	122	744	4	4	3	4	4	4	23
27	金井小学校	101	105	99	107	117	89	618	3	3	3	3	3	3	18
28	大蔵小学校	128	131	147	121	150	146	823	4	4	4	4	4	4	24
29	三輪小学校	108	84	85	82	108	92	559	4	3	3	3	3	3	19
30	忠生小学校	87	85	91	100	110	116	589	3	3	3	3	3	3	18
31	小山田小学校	63	80	79	79	89	82	472	2	3	2	2	3	3	15
32	忠生第三小学校	89	97	96	65	88	102	537	3	3	3	2	3	3	17
33	山崎小学校	64	63	56	58	67	52	360	2	2	2	2	2	2	12
34	小山田南小学校	115	90	108	103	82	95	593	4	3	3	3	3	3	19
35	木曾境川小学校	83	61	65	83	65	88	445	3	2	2	3	2	3	15
36	七国山小学校	134	106	117	116	103	142	718	4	4	3	3	3	4	21
37	図師小学校	105	117	110	93	100	85	610	3	4	3	3	3	3	19
38	小山小学校	148	176	143	123	133	127	850	5	6	4	4	4	4	27
39	小山ヶ丘小学校	143	129	131	137	128	139	807	5	4	4	4	4	4	25
40	小山中央小学校	154	177	149	145	126	119	870	5	6	4	4	4	3	26
41	相原小学校	84	95	97	90	109	101	576	3	3	3	3	3	3	18
42	小中一貫ゆくのき学園(大戸小学校)	35	25	27	24	23	19	153	1	1	1	1	1	1	6
計		3,798	3,749	3,805	3,742	3,960	3,966	23,020	126	125	116	115	121	121	724
1	町田第一中学校	246	298	222				766	7	8	6				21
2	町田第二中学校	179	174	177				530	5	5	5				15
3	町田第三中学校	126	142	141				409	4	4	4				12
4	南大谷中学校	156	141	147				444	4	4	4				12
5	南中学校	261	272	274				807	7	7	7				21
6	つくし野中学校	278	255	292				825	8	7	8				23
7	成瀬台中学校	150	180	139				469	4	5	4				13
8	南成瀬中学校	208	188	195				591	6	5	5				16
9	鶴川中学校	183	169	172				524	5	5	5				15
10	鶴川第二中学校	294	278	266				838	8	7	7				22
11	薬師中学校	118	147	110				375	4	4	3				11
12	真光寺中学校	133	116	113				362	4	3	3				10
13	金井中学校	169	158	149				476	5	4	4				13
14	忠生中学校	210	191	197				598	6	5	5				16
15	山崎中学校	120	101	103				324	4	3	3				10
16	木曾中学校	130	115	102				347	4	3	3				10
17	小山田中学校	171	178	160				509	5	5	4				14
18	小山中学校	272	251	191				714	8	7	5				20
19	堺中学校	192	183	210				585	6	5	6				17
20	小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡中学校)	29	21	33				83	1	1	1				3
計		3,625	3,558	3,393				10,576	105	97	92				294

2014年5月1日 児童・生徒数/学級数(特別支援学級)

	種別	児童・生徒数							学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
1 町田第一小学校	知的	1	1	3	2	1	2	10	2
	情緒	1	1	3	3	3	1	12	2
2 町田第二小学校	知的	3	1	2	2	2	3	13	2
4 町田第四小学校	情緒								8
5 町田第五小学校	知的	1	0	0	2	1	0	4	1
6 町田第六小学校	肢体	1	0	3	0	0	2	6	1
7 南大谷小学校	知的	3	5	4	2	3	8	25	4
8 藤の台小学校	知的	0	0	0	5	5	3	13	2
	弱視								1
	難聴								1
9 本町田東小学校	言語								2
	知的	3	5	2	2	10	6	28	4
10 本町田小学校	知的	3	3	1	3	4	1	15	2
12 南第二小学校	知的	7	4	2	3	1	3	20	3
14 南第四小学校	知的	0	2	1	3	2	2	10	2
	情緒								5
17 成瀬台小学校	情緒								1
20 成瀬中央小学校	情緒								7
21 南成瀬小学校	情緒	2	2	5	6	3	2	20	3
22 南つくし野小学校	知的	0	1	1	1	0	3	6	1
24 鶴川第二小学校	知的								6
25 鶴川第三小学校	情緒	4	2	3	4	4	2	19	3
26 鶴川第四小学校	知的	1	0	3	3	2	3	12	2
27 金井小学校	知的	2	2	3	2	4	4	17	3
30 忠生小学校	知的								5
32 忠生第三小学校	情緒	1	0	0	1	2	1	5	1
	肢体								1
33 山崎小学校	難聴	0	4	3	3	3	2	15	2
	知的	1	0	3	2	4	3	13	2
34 小山田南小学校	知的	5	9	6	5	1	7	33	5
35 木曾境川小学校	知的								6
36 七国山小学校	情緒	0	1	4	0	2	3	10	2
37 図師小学校	知的	0	1	2	2	0	1	6	1
38 小山小学校	知的	0	0	0	2	2	3	7	1
39 小山ヶ丘小学校	知的								8
	情緒	2	1	1	3	3	3	13	2
40 小山中央小学校	知的	41	45	55	61	62	68	332	53
計(固定学級)									
1 町田第一中学校	知的	3	10	13				26	4
	肢体	4	3	2				9	2
2 町田第二中学校	難聴								1
	情緒								6
3 町田第三中学校	情緒								2
4 南大谷中学校	知的	6	3	8				17	3
5 南中学校	知的	2	6	3				11	2
6 つくし野中学校	知的	8	11	11				30	4
7 成瀬台中学校	知的	6	5	1				12	2
9 鶴川中学校	知的	6	5	7				18	3
11 薬師中学校	知的	3	2	5				10	2
14 忠生中学校	知的	10	7	6				23	3
15 山崎中学校	知的	4	7	5				16	2
18 小山中学校	情緒								4
19 堺中学校	知的	6	4	2				12	2
計(固定学級)		58	63	63				184	29

※着色部分は、通級制及び巡回制

児童・生徒数・学級数の推移（通常学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
1989	44	721	24,855	20	370	14,763	64	1,091	39,618
1990	44	719	24,162	20	355	13,520	64	1,074	37,682
1991	44	711	23,376	20	350	12,912	64	1,061	36,288
1992	44	698	22,699	20	333	12,221	64	1,031	34,920
1993	44	681	22,171	20	313	11,512	64	994	33,683
1994	44	672	21,605	20	303	11,047	64	975	32,652
1995	44	655	20,968	20	291	10,554	64	946	31,522
1996	44	638	20,104	20	291	10,420	64	929	30,524
1997	44	613	19,444	20	281	10,110	64	894	29,554
1998	44	613	19,062	20	275	9,892	64	888	28,954
1999	44	604	18,747	20	262	9,471	64	866	28,218
2000	44	600	18,675	20	257	9,182	64	857	27,857
2001	43	603	18,831	20	252	8,893	63	855	27,724
2002	41	616	19,411	20	247	8,725	61	863	28,136
2003	39	628	20,013	20	241	8,453	59	869	28,466
2004	39	639	20,582	20	240	8,287	59	879	28,869
2005	40	656	21,418	20	236	8,215	60	892	29,633
2006	40	669	21,973	20	242	8,393	60	911	30,366
2007	40	686	22,572	20	244	8,660	60	930	31,232
2008	40	696	23,111	20	255	9,091	60	951	32,202
2009	41	710	23,398	20	259	9,235	61	969	32,633
2010	42	715	23,687	20	265	9,444	62	980	33,131
2011	42	720	23,554	19	272	9,732	61	992	33,286
2012	42	735	23,407	20	281	10,076	62	1,016	33,483
2013	42	726	23,259	20	291	10,398	62	1,017	33,656
2014	42	724	23,020	20	294	10,576	62	1,018	33,596

児童・生徒数・学級数の推移（特別支援学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数
1989	29	116	14	87	43	203
1990	30	113	13	67	43	180
1991	30	120	13	63	43	183
1992	30	123	14	61	44	184
1993	31	130	12	62	43	192
1994	35	123	12	62	47	185
1995	36	119	16	66	52	185
1996	36	139	16	68	52	207
1997	38	145	15	64	53	209
1998	36	152	15	67	51	219
1999	37	146	17	77	54	223
2000	38	160	21	86	59	246
2001	39	160	20	93	59	253
2002	31	167	15	85	46	252
2003	36	199	15	81	51	280
2004	37	222	16	98	53	320
2005	41	246	17	104	58	350
2006	44	268	22	125	66	393
2007	51	299	20	120	71	419
2008	48	302	23	148	71	450
2009	48	312	27	179	75	491
2010	51	320	30	209	81	529
2011	51	314	34	221	85	535
2012	51	318	31	205	82	523
2013	52	331	30	197	82	528
2014	53	332	29	184	82	516

(4) 通学区域

小・中学校では、住所により通学する学校（指定校）が定められています。これは、市内に小学校または中学校が2校以上あるときには、就学すべき学校を指定しなければならないとする学校教育法施行令第5条第2項の規定を根拠としています。この指定された学校に通学すべき地域を通学区域といいます。

(5) 通学区域緩和制度

通学区域緩和制度（2013年度から名称変更）は、入学に際し、保護者やお子さんが通学区域により指定された学校（指定校）以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、2年生以上の児童・生徒は対象になりません。

町田市では2004年4月入学者から、通学区域緩和制度の前身である学校選択制度を実施していましたが、2011年7月に「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

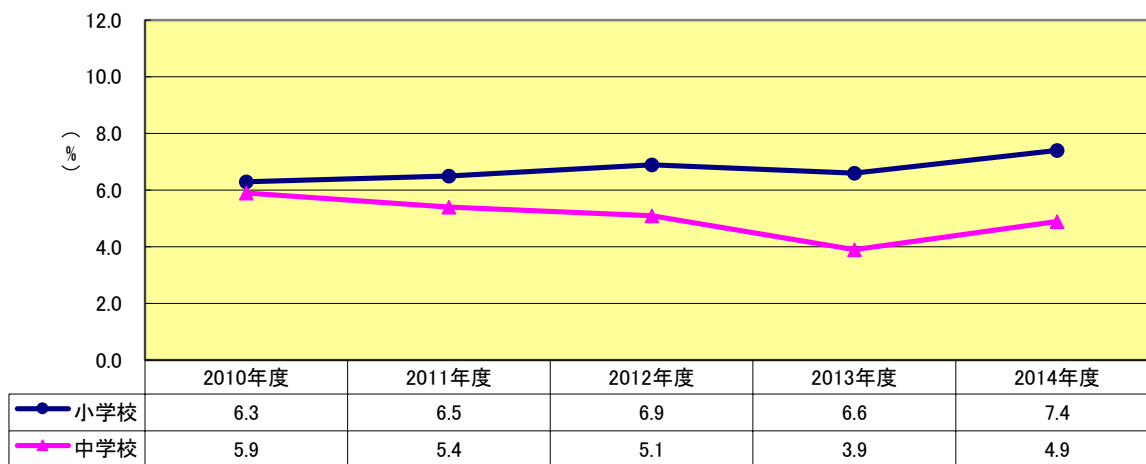
その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、入学希望校を居住地に関わらず自由に選択できる自由選択制から、指定校の隣接校もしくは通学距離が片道1.5km未満の学校とする隣接区域選択制への変更等を行い、名称を現在の「通学区域緩和制度」に改め、2013年度入学者から運用を開始しています。

2004年度の制度発足以来、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

入学児童・生徒数と通学区域緩和制度（旧学校選択制度）利用者数（人）（各年度入学時点）

区分		年度				
		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
新小学 1年生	入学児童数	3,891	3,715	3,732	3,742	3,786
	うち制度利用者数	246	241	259	246	282
新中学 1年生	入学生徒数	3,194	3,448	3,381	3,528	3,618
	うち制度利用者数	187	185	173	139	179

通学区域緩和制度利用率の推移



2. 教育環境

子どもたちの学校生活や学習活動をより充実させるため、学校施設や学校図書館などの教育環境の整備を進めています。

(1) 学校施設

① 学校施設一覧

(2014年5月1日現在)

小学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259	平 14. 9	10	12,570	4,979	37	5,016	22	12
町田第二小学校	昭 48. 3	668	昭 44. 7	10	9,923	4,330	74	4,404	15	12
町田第三小学校	昭 49. 11	684	昭 46. 7	10	13,892	4,823	419	5,242	17	13
町田第四小学校	昭 49. 6	691	昭 44. 7	10	15,677	5,490	85	5,575	19	20
町田第五小学校	昭 48. 3	681	昭 44. 7	09	12,426	5,314	46	5,360	18	19
町田第六小学校	昭 47. 3	701	昭 44. 7	10	15,702	5,559	105	5,664	15	16
南大谷小学校	昭 51. 9	706	昭 49. 7	10	14,099	5,258	119	5,377	24	8
藤の台小学校	昭 49. 11	726	昭 48. 7	10	13,322	5,835	92	5,927	22	16
本町田東小学校	昭 49. 5	736	昭 46. 7	10	16,771	5,706	17	5,723	11	20
※ ¹ 本町田小学校	(昭 53. 6)	659	(昭 52. 6)	10	17,509	5,746	172	5,918	19	18
南第一小学校	昭 46. 2	675	昭 57. 3	10	13,650	5,910	68	5,978	17	15
南第二小学校	昭 53. 7	743	昭 54. 3	10	16,500	5,970	62	6,032	14	15
南第三小学校	昭 49. 9	723	昭 52. 6	10	11,063	4,964	96	5,060	14	21
南第四小学校	昭 48. 10	678	昭 44. 7	10	15,825	5,323	331	5,654	21	16
つくし野小学校	昭 48. 3	668	昭 46. 7	10	15,197	4,156	106	4,262	12	13
小川小学校	昭 52. 8	703	昭 50. 7	10	16,076	5,776	51	5,827	18	17
成瀬台小学校	昭 52. 7	703	昭 50. 6	10	16,513	6,483	95	6,578	20	19
鶴間小学校	昭 53. 7	710	昭 52. 6	10	19,910	5,115	186	5,301	17	10
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683	昭 53. 6	10	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682	昭 54. 6	10	16,509	4,720	169	4,889	7	12
南成瀬小学校	昭 55. 5	780	昭 55. 6	10	16,228	6,139	13	6,152	17	19
南つくし野小学校	昭 55. 3	694	昭 55. 5	10	14,653	6,448	13	6,461	27	10
鶴川第一小学校	昭 47. 3	668	昭 44. 8	10	19,362	4,577	121	4,698	24	7
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668	昭 41. 6	10	21,571	5,442	1110	6,552	22	16
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724	昭 44. 8	10	19,828	7,070	27	7,097	18	30
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724	昭 46. 7	10	19,829	6,634	91	6,725	26	20
金井小学校	昭 53. 5	708	昭 53. 7	10	16,072	5,361	71	5,432	20	10
大蔵小学校	昭 55. 3	695	昭 55. 7	10	19,223	5,458	1,119	6,577	24	14
三輪小学校	昭 57. 7	725	昭 57. 7	10	13,812	5,026	0	5,026	19	10

※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668	昭 45. 9	10	14, 228	5, 246	1, 391	6, 637	23	14
小山田小学校	昭 55. 11	888	昭 55. 10	10	18, 617	4, 157	782	4, 939	15	9
忠生第三小学校	昭 51. 6	689	昭 44. 7	10	13, 138	5, 586	82	5, 668	17	22
山崎小学校	昭 55. 3	732	昭 55. 6	10	16, 299	5, 236	141	5, 377	13	17
小山田南小学校	昭 59. 3	710	昭 59. 5	10	17, 833	6, 321	670	6, 991	22	14
※ ¹ 木曾境川小学校	(昭 53. 5)	681	(昭 52. 6)	10	16, 735	5, 501	225	5, 726	15	16
※ ¹ 七国山小学校	(昭 51. 3)	653	(昭 51. 6)	10	22, 772	4, 928	1, 345	6, 273	27	11
図師小学校	平 21. 3	1, 161	平 21. 3	11. 4	20, 542	7, 043	0	7, 043	20	20
小山小学校	昭 51. 9	714	昭 53. 6	10	20, 716	6, 433	120	6, 553	29	13
小山ヶ丘小学校	平 17. 3	1, 045	平 17. 3	10	15, 743	8, 402	0	8, 402	28	17
小山中央小学校	平 22. 2	1, 101	平 22. 2	11. 2	29, 125	8, 236	0	8, 236	27	19
相原小学校	昭 48. 3	668	昭 61. 5	10	13, 246	6, 145	33	6, 178	21	15
※ ³ 大戸小学校	昭 58. 4	753	昭 58. 5	10	26, 738	5, 476	0	5, 476	9	19

※¹ は学校適正規模適正配置事業に伴う統合校で、()内は旧施設完成年月となります。

※² 忠生第一小学校は、2011年9月1日より、忠生小学校に校名変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校（大戸小学校と武蔵岡中学校＝ゆくのき学園）に整備したため、大戸小学校内にある教室数には中学校使用分も含まれます。

(2014年5月1日現在)

中学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
町田第一中学校	平 4. 8	1, 366	平 4. 8	11	15, 113	6, 749	1, 369	8, 118	23	23
町田第二中学校	昭 57. 3	976	昭 43. 8	11	17, 684	6, 562	208	6, 770	15	25
町田第三中学校	昭 47. 3	702	昭 44. 12	11	14, 196	5, 470	78	5, 548	12	22
南大谷中学校	昭 51. 7	944	昭 50. 6	11	19, 026	6, 263	164	6, 427	16	17
南中学校	平 11. 2	1, 924	平 11. 2	11	24, 928	7, 099	94	7, 193	23	19
つくし野中学校	昭 51. 6	983	昭 51. 7	11	16, 527	7, 676	150	7, 826	28	19
成瀬台中学校	昭 54. 5	992	昭 54. 6	11	16, 502	8, 231	143	8, 374	16	26
南成瀬中学校	昭 57. 3	1, 084	昭 57. 3	11	19, 962	6, 680	0	6, 680	16	22
鶴川中学校	平 14. 1	1, 293	平 14. 1	11	19, 656	10, 821	0	10, 821	17	25
鶴川第二中学校	昭 48. 10	772	昭 48. 8	11	16, 520	7, 490	146	7, 636	22	18
薬師中学校	昭 47. 3	710	昭 46. 7	11	20, 048	6, 539	83	6, 622	14	22
真光寺中学校	昭 55. 5	947	昭 55. 6	11	17, 940	6, 179	148	6, 327	10	17
金井中学校	昭 59. 5	1, 048	昭 59. 5	11	20, 323	5, 385	32	5, 417	13	13
忠生中学校	平 5. 8	2, 206	平 5. 8	11	22, 021	7, 966	86	8, 052	19	22

中学校	体育館		25m プール		校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
山崎中学校	昭 54. 5	1,005	昭 54. 6	11	22,042	6,813	160	6,973	15	21
木曾中学校	昭 58. 3	1,031	昭 58. 5	11	21,599	6,455	0	6,455	10	20
小山田中学校	昭 59. 3	1,085	昭 59. 3	11	21,274	5,312	949	6,261	14	21
小山中学校	平 24. 2	1,231	平 24. 2	13	26,148	9,361	0	9,361	22	25
堺中学校	平 20. 2	1,234	平 20. 2	11	14,907	7,600	66	7,666	19	20
武蔵岡中学校	昭 58. 5	904	昭 58. 5	11	29,574	3,981	0	3,981	0	17

② 学校施設の整備

耐震補強工事が 2010 年度に完了し、小・中学校の耐震化率 100%を達成しました。2011 年度以降は、重点事業として、老朽化した施設の学習環境の改善を図ることを目的として、トイレ改修事業や防音事業を実施しています。また、安全、快適な学習環境を確保するため、建物の長寿命化や外壁、窓枠の落下防止、省エネを目指した施設改修工事を進めています。

2013 年度は、トイレ改修事業 7 校、校庭芝生化事業 2 校、防音事業 3 校、中規模改修事業 1 校の工事を行いました。

2013 年度 主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
トイレ改修事業	町田第三小学校 高ヶ坂小学校 小山田小学校 大蔵小学校 三輪小学校 南第四小学校	小山田中学校
校庭芝生化事業	本町田小学校 鶴間小学校	
防音事業 (※)	町田第三小学校 (2 年度目) 藤の台小学校 (1 年度目)	町田第三中学校 (1 年度目)
中規模改修事業	鶴川第二小学校	

※防音事業は、原則として各校 2 年度にわたって実施しています。

③ 学校施設増改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一小学校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3								
町田第二小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡	訪問学級	昭55.8	911㎡	4	2	
町田第三小学校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4
町田第四小学校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3
町田第五小学校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2
町田第六小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0
南大谷小学校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3								
藤の台小学校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0				
本町田東小学校	昭45.7	2,349㎡	12	3	昭46.3	1,311㎡	9	1	昭48.7	1,368㎡	11	0	昭49.5	678㎡	0	4
本町田小学校	平15.3	給(344) 5,918㎡	18	11												
南第二小学校	昭53.7	給(307) 6,018㎡	25	6												
南第三小学校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5
南第四小学校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2
つくし野小学校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	9	2	昭49.10	1,711㎡	11	3				
小川小学校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3
成瀬台小学校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0
鶴間小学校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)						
高ヶ坂小学校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1				
成瀬中央小学校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5												
南成瀬小学校	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9												
南つくし野小学校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8												

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
鶴川第一小学校	昭41.3	1,603㎡	12	3	昭41.5	866㎡	6	0	昭45.3	619㎡	3	1	昭50.7	1,234㎡	6	2
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3	昭60.3	給(212)		
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5												
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	平4.2	662㎡	4	1								
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2				
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7								
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6												
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1				
木曾境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11												
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9												
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19												
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2								
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15												
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17												
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0								

学校名	6期		
	年月	建築面積	普通教室
南第四小学校	平15.3	給(88) 167㎡	
忠生小学校	平16.3	給(93) 1,338㎡	6

学校名	1期				2期				3期				4期				5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一中学校	昭37.8	1,987㎡	10	3	昭39.3	1,440㎡	9	3	昭45.7	1,320㎡	9	0	昭48.10	1,666㎡	0	8	昭51.8	514㎡	訪問学級	
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13								
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2				
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0								
南中学校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9				
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3								
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5								
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9																
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18																
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4				
栗師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0				
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10																
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9																
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0								
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3												
木曾中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10																
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0	平7.2	345㎡	1	1
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26																
堺中学校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭50.2	292㎡	格枝室		平20.2	3,031㎡	校舍棟及び 体育館棟	
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2												

(2) 学校図書館

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」をはぐくんでいきます。

① 町田市取組

・図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に図書指導員（2013年度に学校図書ボランティアから名称変更）を配置しています。図書指導員は、蔵書管理、図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

・教員等の研修の充実

2013年度は、学校図書館に関する研修を年4回開催しました。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭、初任者教諭及び図書指導員です。市立図書館・市民文学館職員からの実践事例紹介や、ワークショップ、ブックトークの実演などを通じて学校ですぐに役立つ研修を行いました。



ワークショップの様子

・市立図書館との連携

児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館では学校図書館支援貸出を実施し、市立図書館に所蔵している資料を貸し出して、学校図書館をサポートしています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。



小学校の学校図書館



中学校の学校図書館

② 学校図書館蔵書状況

文部科学省は、学校図書館の蔵書の充実を図るため、1993年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めました。2013年度末時点でこの学校図書館図書標準を達成している学校は、小学校42校中24校、中学校20校中3校です。

この蔵書整備の状況を受け、2013年度、学校図書館の蔵書を計画的に整備するための「町田市立学校図書館蔵書整備計画策作成指針」を作成しました。この指針に基づき、各校において「町田市立学校図書館蔵書整備計画」を作成し、2018年度末までに全小・中学校で学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、「読書センター」及び「学習・情報センター」機能を十分に果たすことができるよう、蔵書整備を図っていきます。

小・中学校の蔵書整備状況（2013年度末）

学校図書館 図書標準達成率	小学校	中学校
100%以上	24校	3校
75%以上 100%未満	15校	10校
50%以上 75%未満	3校	6校
50%未満	0校	1校



3. 町田市の特色ある取組

小・中学校に通う児童・生徒に対し、次の取組を行っています。

(1) 小・中学校間の連携

町田市では、小中9年間を見通して小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うため、小・中学校間の連携を推進しています。

① 小中一貫（連携）教育推進地区の指定

町田市では、2013年に小・中学校全62校を対象に、各中学校と、その中学校が進学先となる小学校をあわせたブロックである「小中一貫（連携）教育推進地区」を指定しました。この地区内の小・中学校が連携し、小中9年間を見通して、地域や児童・生徒の実態に応じた生活指導や学力向上に取り組むとともに、教員や児童・生徒の交流などを行います。

小中一貫（連携）教育推進地区一覧

地区	中学校	小学校			
1	町田第一中学校	町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
2	町田第二中学校	町田第二小学校	町田第六小学校	高ヶ坂小学校	
3	町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校		
4	南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校		
5	南中学校	南第一小学校	南第三小学校	南第四小学校	
6	つくし野中学校	つくし野小学校	小川小学校	鶴間小学校	南つくし野小学校
7	成瀬台中学校	成瀬台小学校	成瀬中央小学校		
8	南成瀬中学校	南第二小学校	南成瀬小学校		
9	鶴川中学校	鶴川第一小学校	大蔵小学校		
10	鶴川第二中学校	鶴川第二小学校	鶴川第三小学校	三輪小学校	
11	薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校		
12	真光寺中学校	鶴川第四小学校			
13	金井中学校	金井小学校			
14	忠生中学校	忠生小学校	山崎小学校	函師小学校	
15	山崎中学校	七国山小学校			
16	木曽中学校	木曽境川小学校			
17	小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校		
18	小山中学校	小山小学校	小山中央小学校		
19	堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校		
20	武蔵岡中学校	大戸小学校			

② 小中一貫町田っ子カリキュラム

小中9年間を通じた教育を推進するため、2008年に「規範教育・キャリア教育・食育・英語教育」の4領域について「小中一貫町田っ子カリキュラム」を作成し、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう取り組んでいます。

2013年度の小中一貫町田っ子カリキュラム（規範教育・キャリア教育・食育）の内容

	基礎期（小学校 1・2・3・4 年）	充実期（小学校 5・6年、中学校 1年）	発展期（中学校 2・3年）
小中一貫町田っ子カリキュラム「規範教育」	ルール定着期	基礎的な教養期	実践・発展期
小中一貫町田っ子カリキュラム「キャリア教育」	働く大人の姿に触れる学習期	働く意味・意義を考える学習期	適性や進路を考える学習期
小中一貫町田っ子カリキュラム「食育」	基礎となる体験の充実期	体験の充実と知識の習得期	学んだことの実践期

2013年度の小中一貫町田っ子カリキュラム（英語教育）の内容

	基礎期（小学校 5・6年）	充実期（中学校1 年）	発展期（中学校 2・3年）
小中一貫町田っ子カリキュラム「英語教育」	コミュニケーション能力の素地を養う	コミュニケーション能力の基礎を養う	

（2）学力向上

町田市では、小・中学校に通う児童・生徒の学力状況を分析し、その実態に沿った学力向上策を検討・提案する組織として、2013年度に「町田市学力向上推進委員会」を設置し、全市的な学力向上策に取り組みました。

また、同一地域の小・中学校が連携して地域ごとの学力上の課題を解決するため、学力向上策にも取り組みました。

2013年度 「全国学力・学習状況調査」の町田市平均正答率

科目	小学6年生	中学3年生
国語A	63.8%	76.5%
国語B	51.2%	68.2%
算数(数学)A	77.5%	64.5%
算数(数学)B	58.2%	40.8%

※「国語A及び算数(数学)A」は主として知識に関する問題、「国語B及び算数(数学)B」は主として活用に関する問題を指しています

① 町田市学力向上推進委員会の設置

2013年度に、小・中学校校長会の代表や教育委員会の職員で構成する「町田市学力向上推進委員会」を設置しました。委員会の設置期間は2018年度までの5年間です。委員会では学識経験者を顧問に迎え、小・中学校に通う児童・生徒の学力向上に向け学力向上策の検討・提案を行いました。

2013年度 町田市学力向上推進委員会構成員

委員長	七国山小学校長	山本 弘明	委員	指導室長	小池 慎一郎
副委員長	町田第二中学校長	富田 直人	委員	指導課統括指導主事	小林 洋之
委員	函師小学校長	西久保 律子	委員	指導課指導主事	長田 猛
委員	小山ヶ丘小学校長	室屋 憲一	委員	指導課指導主事	寺本 英雄
委員	南第一小学校長	佐野 友隆	委員	指導課指導主事	大山 聡
委員	町田第六小学校長	金武 素子	委員	指導課指導主事	井元 章二
委員	町田第一中学校長	天利 公一	委員	指導課指導主事	酒井 章

町田市学力向上推進委員会顧問

東京大学大学院	藤村 宣之 教授
---------	----------

2013年度 町田市学力向上推進委員会活動

児童・生徒の学力状況の分析及び学力向上策（協同的探究学習）の検討
学力向上推進パイロット校に学力向上策を提案
学力向上推進パイロット校での実践結果を受けた「協同的探究学習の手引き」の作成
「学力向上に関わる実践資料集」の作成 (学力向上に関わる実践資料集：小・中学校各校が取り組んでいる学力向上のための取組を記載した資料)
「町田市学力向上推進プラン（第1期）骨子案」の作成 (町田市学力向上推進プラン（第1期）骨子案：児童・生徒の学力向上に向け、学校、家庭、地域及び教育委員会が取り組むことを記載した資料)

② 学力向上パイロット校の指定

小・中学校児童・生徒の学力向上のための指導法を開発し、その成果を検証する学校として、2013年度に小・中学校それぞれ2校ずつを「学力向上パイロット校」に指定しました。このパイロット校の指定期間は2年間です。パイロット校では、自分自身あるいは他者の知識を利用しながら考えを構成したり、その思考プロセスを表現して他者と共有して理解を深めたりする学習法である「協同的探究学習」を実践しました。パイロット校での実践結果を踏まえ、町田市学力向上推進委員会が「協同的探究学習の手引き」を作成しました。

2013年度・2014年度 学力向上パイロット校一覧

科目	小学校	中学校
国語	南第一小学校	町田第一中学校
算数・数学	町田第六小学校	町田第二中学校

③ 学力向上モデル地区の指定

全国学力・学習状況調査の結果からは、地域ごとに異なる学力上の課題があることが分かりました。地域ごとの学力上の課題を解決するため、2013年度に小中一貫（連携）教育推進地区の全20地区のうち、5地区を「学力向上モデル地区」に指定しました。このモデル地区では、民間教育機関と連携して学力調査を行い、調査結果からわかった課題を解決するための取組を行っています。

学力向上モデル地区（指定期間 2013年度～2017年度）

中学校	小学校	
町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校
南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校
薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校
小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校
堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校

(3) 体力向上

町田市では、児童・生徒の体力の向上に向けて、次の取組を実施しています。

① 一校一取組

小・中学校各校では、児童・生徒の体力・運動能力に関する具体的な目標を定め、地域や学校の実態に合った取組を行う「一校一取組」を実施しています。

2013年度 各校の一校一取組

【小学校】

学校名	取組名	学校名	取組名
町田第一小学校	町一スポーツタイム	南つくし野小学校	運動旬間（長縄・持久走）
町田第二小学校	体力向上週間「元気に運動しよう週間」	鶴川第一小学校	朝スポ（朝のスポーツタイム）
町田第三小学校	年刊 少年・少女 じゃんぷ！！	鶴川第二小学校	みんなで楽しく体力を伸ばそう!!
町田第四小学校	町田第四小学校の一校一取組	鶴川第三小学校	つる三タイム（朝の体育集会、及び、業間体育）
町田第五小学校	町田第五小学校の一校一取組	鶴川第四小学校	なわとび・タイム
町田第六小学校	スポーツマスターカード、マッスル週間、体育朝会、クラス対抗5分間大縄大会、マラソンタイム	金井小学校	金井小学校の一校一取組
南大谷小学校	南大谷ジャンプ&ラン	大蔵小学校	長縄タイム・短縄チャレンジ
藤の台小学校	藤の台小学校の一校一取組	三輪小学校	みわっ子タイム
本町田東小学校	東っ子スポーツ	忠生小学校	走ってGO 忠生小ランナー
本町田小学校	本小ジャンプ	小山田小学校	小山田小学校の一校一取組
南第一小学校	140周年記念 長縄8の字跳び大会	忠生第三小学校	忠三パワーアップタイム
南第二小学校	大縄で元気アップ!	山崎小学校	マッスルタイム
南第三小学校	長縄大会、なわとびしよう	小山田南小学校	小山田南小学校の一校一取組
南第四小学校	南四体操（ソーラン節）	木曾境川小学校	みんなで走ろう旬間、なわとび
つくし野小学校	長縄集会、つくし野マラソン	七国山小学校	七国山マラソン
小川小学校	みんなげんき!	函師小学校	持久走タイム
成瀬台小学校	成瀬台小学校の一校一取組	小山小学校	スポーツ月間（縄跳び・持久走）
鶴間小学校	長縄跳び	小山ヶ丘小学校	小山ヶ丘小学校の一校一取組

高ヶ坂小学校	高ヶ坂小学校の各校一取組	小山中央小学校	小山中央小学校の各校一取組
成瀬中央小学校	成瀬中央小体力向上大作戦	相原小学校	レッツエンジョイ！相っ子なわとびタイム
南成瀬小学校	笑顔で楽しく体力アップ！！	大戸小学校	体力づくり「持久走」、体力づくり「なわとび」

【中学校】

学校名	取組名	学校名	取組名
町田第一中学校	30秒腕立て伏せと30秒腹筋	薬師中学校	薬師中学校の各校一取組
町田第二中学校	町田第二中学校の各校一取組	真光寺中学校	「補強運動」＋「毎時間タイムトライアル」
町田第三中学校	町田第三小学校の各校一取組	金井中学校	金井中学校の各校一取組
南大谷中学校	有酸(ありさん)ランニング	忠生中学校	忠生中学校の各校一取組
南中学校	集団行動	山崎中学校	YTP2013 (YAMASAKI TRAINING PROGRAM 2013)
つくし野中学校	3T (Tsukushino Training Time)	木曾中学校	木曾中学校の各校一取組
成瀬台中学校	成瀬台中学校の各校一取組	小山田中学校	体力向上を目指した体づくり運動
南成瀬中学校	自分の体力を知ろう(体力向上に向けて)	小山中学校	コアトレーニング
鶴川中学校	鶴川中学校の各校一取組	堺中学校	保健体育授業における効果的な補強運動の導入と工夫
鶴川第二中学校	鶴川第二中学校の各校一取組	武蔵岡中学校	持久走大会

② 体力向上推進校

特定の分野について研究主題を掲げ、全校体制で実践、研究にあたる学校である研究推進校のうち、体力の向上に関する研究を行う学校を「体力向上推進校」に指定し、研究費の助成を行っています。この体力向上推進校の研究内容は、他の小・中学校にも情報発信しました。

2014年度 体力向上推進校

対象校	研究主題
鶴間小学校	健やかな心と体を育てる ～互いに気付き 感じる 楽しい体づくり運動～

③ 小学校連合運動会

2013年度に、陸上運動や体づくり運動をとおして学校間の競技交流、競技力及び体力の向上を図ることを目標として、南地区の複数の小学校が集まって小学校連合運動会を開催しました。2015年度から、全小学校で近隣の複数の小学校が集まって小学校連合運動会を実施することを予定しています。

2013年度 小学校連合運動会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
11月19日	南中学校	南第一小学校、南第三小学校、南第四小学校	各学校の6年生 (305名)

④ 町田市中学校対抗連合陸上競技大会

生徒にスポーツ実践の機会を与え、体力、技能の向上を図り、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、スポーツ交流を通じて各学校間の親睦を図り生涯スポーツの基礎づくりに寄与することを目的として、町田市中学校対抗陸上競技大会を開催しています。

2013年度 町田市中学校対抗連合陸上競技大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月8日	野津田競技場	市内中学校（私立学校を含む）	各中学校の選抜選手

（４）防災教育

小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して、避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。

中でも、9月1日の「防災の日」には、小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校を行っています。また、3月は大震災を想定した訓練を行っています。

さらに、授業においては、「3.11を忘れない」（防災教育補助教材・東京都教育委員会作成）を活用した指導を、小学校は5・6年生、中学校は2・3年生で行っています。

（５）生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生がスムーズに学校生活に慣れることができるように、約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

(6) 科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学5年生、中学2年生から希望を募り、土曜日に研究活動を行っています。

運営は小・中学校の校長会が行い、理科専門の教員が実験や作業を指導しています。小学校科学教育センターは4月から翌年2月まで、教育センターをメイン会場として、年に18回実施しています。中学校科学教育センターは7月から12月まで、指導教員の所属する中学校で、年に10回実施しています。閉講式には、それぞれ研究の成果を発表しています。

なお、2013年度は、小学生89名、中学生41名が参加しました。

2013年度 第54回町田市小学校科学教育センター開催実績(89人参加)

No.	日程	内容	会場
第1回	4月27日	開講式	市民フォーラム
第2回	5月11日	基礎研究①(出前授業)	町田第一小学校
第3回	6月29日	基礎研究②	教育センター
第4回	7月6日	町田の自然を調べる①	大地沢青少年センター
第5回	7月6日	自由研究①	大地沢青少年センター
第6回	7月20日	海の事前学習、自由研究②	教育センター
第7回	8月7日	海の生物観察	油壺海岸
第8回	8月7日	野外観察	油壺海岸
第9回	8月31日	基礎研究③	教育センター
第10回	9月7日	自由研究③	教育センター
第11回	9月14日	自由研究④	教育センター
第12回	9月21日	自由研究⑤	教育センター
第13回	10月12日	町田の自然を調べる②	かしの木山自然公園
第14回	10月12日	野外観察	かしの木山自然公園
第15回	10月19日	発展研究①	教育センター
第16回	11月30日	発展研究②	教育センター
第17回	12月7日	各組の自由研究発表	教育センター
第18回	2月22日	閉講式	市民フォーラム

2013年度 第51回町田市中学校科学教育センター開催実績（41人参加）

No.	日程	内容	会場
第1回	6月29日	開講式	教育センター
第2回	7月6日	楽しい化学実験	忠生中学校
第3回	7月20日	免疫について	町田第二中学校
第4回	7月25日	光センサー	都立町田工業高校
第5回	9月7日	化石でアクセサリーを作ろう	小山中学校
第6回	10月19日	光の実験	つくし野中学校
第7回	11月13日	カエルの解剖	南成瀬中学校
第8回	11月30日	DNAの抽出実験	玉川学園
第9回	12月7日	液体窒素	成瀬台中学校
第10回	12月14日	開講式	教育センター

（7）児童・生徒の文化・スポーツ活動

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化・スポーツ活動を通して、日々自己を磨き、高める活動を行っています。そして、その成果を各種大会で遺憾なく発揮し、優秀な成績を収めています。

① 連合行事の開催

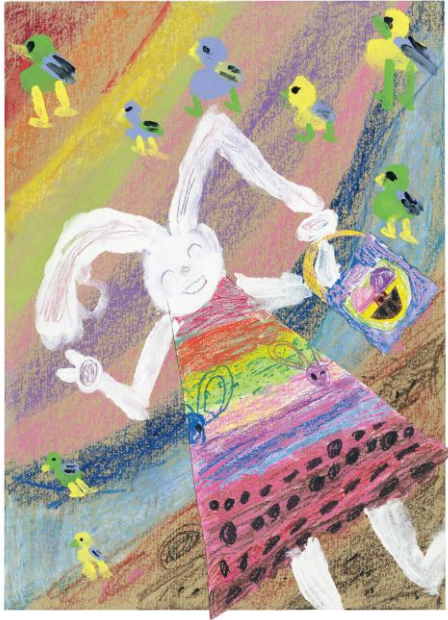
児童・生徒が日ごろの活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しました。

連合行事（2013年度の実施内容）

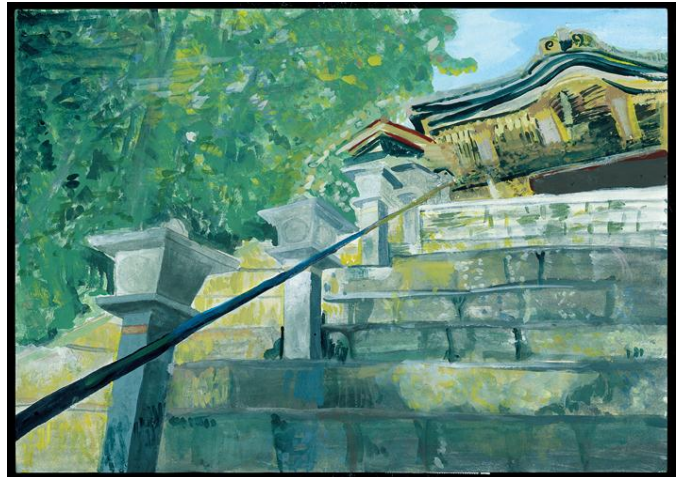
行事名		実施日	場所
小学校	合同音楽会	11/27～ 11/29	町田市民ホール
中学校	陸上競技大会	10/8	陸上競技場
	音楽会（吹奏楽）	7/24	町田市民ホール
	音楽会（合唱）	11/7	町田市民ホール
	演劇発表会	11/3～ 11/4	ひなた村

② 町田市公立小・中学校作品展

毎年1月～2月に国際版画美術館で、日ごろの学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。



2013年度 小学校図画工作展出品作品



2013年度 中学校美術展出品作品

4. 研修・研究

学校の教育力の向上を図るため、次のとおり、教員を対象とした研修の実施や、教員・学校の研究活動の支援を行っています。

(1) 研修

「人格の完成」を目指す教育を支えているものは教員です。そのために、児童・生徒、保護者及び地域から信頼を得られるよう教員の資質の向上を常に図る必要があります。法令においても教員に対して絶えず自己研さんに励む責務を課すとともに、行政に対しても教員の研修の機会を付与する責務を課しています。教育委員会では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

また、毎年各学校から希望を募って、国や都の研修事業に研修生の派遣を行っています。

2013年度 教育委員会実施研修一覧

No.	研修名	回数	参加人数	研修の目的
1	校長研修	3	61	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	3	62	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	新任・転任校長・副校長研修会	1	31	教育委員会事務局各課から施策の概要等を説明する。
4	新任副校長研修	1	12	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
5	教務主任研修	3	62	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力をはぐくむ。(2013年度の重点課題は学力向上。)
6	生活指導主任研修	6	62	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
7	研究主任研修	3	62	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
8	新任主幹教諭研修	2	16	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
9	新任主任教諭研修	1	84	主任教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
10	10年経験者研修	10	40	中堅教員としての資質・能力の向上を図る。
11	授業力アップ研修 【4年次以上希望者】	8	6	授業における自己の課題を明らかにし、具体的解決策を研究する。
12	若手教員育成研修 【3年次】	2	125	2年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
13	若手教員育成研修 【2年次】	3	125	1年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。

14	若手教員育成研修 【1年次】	10	130	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。
15	人権教育研修	3	62	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
16	学校図書館担当者 (司書教諭・図書指導員)研修	3	110	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。
17	特別支援教育に関する研修	13	62	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る。
18	授業力・教育課題研修	36	1300	授業力や新たな教育課題等への対応力を高める。
19	情報教育研修	2	66	情報モラル教育の在り方とセキュリティ対策に関する知識・技術について理解を深め、教育の情報化を推進するための資質及び指導力の向上を図る。
20	パソコン実技研修	1	20	コンピュータの操作技能を高め、授業での活用、教材作成等活用指導力の向上を図る。
21	熱中症予防対応研修	1	100	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
22	安全な水泳指導のための講習会	1	62	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、小・中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い報告書を提出する。
23	市内施設視察見学研修	1	120	町田市への転任者や初任者に対して、学習にも活用できるよう、市内の諸施設を紹介する。

2013年度 研修生派遣先一覧

No.	研修名	派遣人数
1	東京教師道場	13 (うち1名は指導者として派遣)
2	東京都教育研究員	12
3	教職大学院派遣研修	2
4	大学院設置基準第14条 適用大学院派遣研修	1

(2) 研究

小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。

この中から、学校からの応募に基づき、市全体の教育課題に関する研究主題を掲げ、実践、研究にあたる学校を研究推進校に指定し、その研究費を助成しています。また、同様に各教科等の指導法や評価についての研究を進める学校を研究校に指定しています。研究推進校・研究校は、文部科学省、東京都教育委員会等の研究指定を受けることもあります。

さらに、その他の研究活動として、小・中学校の教員が各教科・領域の研究を行う教育研究会や、教育委員会が設置する「特別支援教育推進委員会」や「学力向上推進委員会」などの各種委員会があります。

2014年度 研究推進校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第二小学校	国語科	論理的に考え、書くことができる子供の育成
南第三小学校	算数科	どの子も「わかって・楽しい」算数
鶴間小学校	体育科	健やかな心と体を育てる ～互いに気付き 感じる 楽しい体づくり運動～
高ヶ坂小学校	算数科	自分の考えを伝え合い、学び合う子供の育成 ～算数科における言語活動を通して～
成瀬中央小学校	算数科	自ら考え、進んで課題を解決しようとする児童の育成 ～算数科における基礎的・基本的な内容の定着を通して～
南成瀬小学校	社会科・生活科	一人一人が確かに考え、表現する授業の工夫 ～社会科・生活科の学習を通して～
小山小学校	生活科・総合的な学習の時間	地域に学び、地域に生きる小山っ子 ～探求的な学習における学習活動の工夫～
小山中央小学校	国語科	言語活動を通して、論理的思考力を育てる指導法の工夫 ～書く活動をベースとして「話す・聞く」力の伸長を図る～
山崎中学校	情報教育	タブレット PC や情報機器を活用した学習指導 ～学習意欲の向上にむけて～
ゆくのき学園	各教科等	同一校舎型の小中一貫教育 ～児童・生徒の基礎学力向上と体験的活動の充実～

2014 年度 研究校一覧

学校名	研究教科・領域	研究主題
町田第一小学校	道徳	豊かな心をもった児童の育成 ～自尊感情や自己肯定感を高める指導のあり方～
つくし野小学校	国語科	自分の考えをもち、豊かに表現する子供の育成 ～学習内容を大切に、基本的な表現方法を身につけさせる授業～
小川小学校	体育科	心も体も健康な子ども ～体育科・健康教育を通して～
成瀬台小学校	体育科	運動の楽しさや喜びを味わう子供 ～「わかる」「できる」「かかわる」陸上運動系の運動遊び・運動～
鶴川第一小学校	算数科	自ら学び、よく考える子供の育成 ～主に算数の学習を通して～
鶴川第三小学校	体育科	楽しく運動に取り組み、一人一人の力を伸ばす体育授業の工夫 ～技能習得を実感できる学習づくりの手だて～
忠生小学校	国語科	文章を根拠に自分の考えを表現する力を育てる学習指導の工夫 ～物語文・説明文を通して～
山崎小学校	算数科	「分かる楽しさ・できる喜び」のある算数科の学習 ～どの子にも計算力が身に付く指導の工夫～
木曾境川小学校	算数科	筋道を立てて考え、分かる喜びを感じられる子供の育成 ～算数科を通して～
南成瀬中学校	各教科等	言語活動を通じた思考力・判断力・表現力を育てる学習指導



5. 特別支援教育

障がいがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒について、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っています。

児童・生徒は、特別支援学級に籍を置いて、その障がいや発達に応じた指導を受けながら、一部の教科や給食などは通常の学級で交流学习をする、また、通常の学級で学びながら、ある一定の時間は通級制の学級に通って指導を受けたり、巡回制の学級で教師の訪問指導を受けたりするなど、様々な形での指導を受けています。

障がいのある児童・生徒は、障がいのない児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。障がいのない児童・生徒もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心を身に付けていきます。

(1) 就学・進学相談

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるように、就学・進学相談を行っています。

小学校や中学校への入学にあたっては、児童・生徒の観察や診察、保護者との面接の結果等から、どのような教育が望ましいか、「町田市障がい児就学相談委員会」が所見を出し、保護者の方と就学・進学先について考えていきます。「町田市障がい児就学相談委員会」は、専門的、総合的立場から判断する機関として設置されており、学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。

また、入学後、その障がいや発達の状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。

就学・進学相談 利用者数（人）

区分 \ 年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
就学相談	142	158	143	168	175
進学相談	138	155	129	120	136

(2) 特別支援学級・特別支援教室

① 特別支援学級

障がいがあることにより、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の場として、一部の小・中学校に特別支援学級を設けています。特別支援学級では、児童・生徒の障がいや習熟度に応じた学習活動を行います。

小・中学校の特別支援学級は、1959年に町田第二小学校、1961年に町田第一中学校に知的障がい学級を開設したのにはじまり、2014年5月1日現在では、小学校30校、中学校13校に特別支援学級（知的障がい、情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がいの6種別の学級）を設置しています。

これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、通級制、巡回制の3つの指導形態があります。

固定制は、通常の学級での学習では十分にその効果を上げることが困難な児童・生徒のために、障がいや発達の状態にふさわしい指導計画を作成し、指導を行う形態です。

通級制は、通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童・生徒に対して、特定の時間だけ、特別な場に児童・生徒が通って指導を受ける形態です。

巡回制は、通級制の一形態で、教員が一部特別な指導を必要とする児童・生徒の在籍校を巡回して指導する形態です。

知的障がい、情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

○ 知的障がい・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

○ 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

○ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、弱視学級の先生の指導を受けて、拡大鏡やレンズを使用した物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

○ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声を聞きとることが困難な児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、難聴学級の先生から、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

○ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）などにより、発音や話し方に課題のある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、言語障がい学級の先生から、ことばや発音の指導等を受けています。

○ 情緒障がい学級〈通級制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがある、などの児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、在籍校の通常の学級で勉強していますが、週1日程度、指定の情緒障がい学級設置校に通い、コミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を受けています。

2014年度 特別支援学級

《小学校》

(2014年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい・ 情緒障がい学級 《固定制》	51	321	町田第一小学校 南大谷小学校 南第二小学校 鶴川第二小学校 忠生小学校 七国山小学校 小山中央小学校	町田第二小学校 藤の台小学校 南第四小学校 鶴川第四小学校 小山田南小学校 小山小学校 相原小学校	町田第五小学校 本町田小学校 南つくし野小学校 金井小学校 木曾境川小学校 小山ヶ丘小学校
肢体不自由学級 《固定制》	2	11	町田第六小学校	山崎小学校	
弱視学級《巡回制》	1	7	本町田東小学校		
難聴学級《巡回制》	2	17	本町田東小学校	山崎小学校	
言語障がい学級 《巡回制》	3	49	本町田東小学校	成瀬中央小学校	
情緒障がい学級 《通級制》	45	415	町田第四小学校 鶴川第三小学校 小山中央小学校	成瀬台小学校 忠生第三小学校	南成瀬小学校 函師小学校

《中学校》

(2014年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級 《固定制》	27	174	町田第一中学校 つくし野中学校 薬師中学校 堺中学校	南大谷中学校 成瀬台中学校 忠生中学校	南中学校 鶴川中学校 山崎中学校
肢体不自由学級 《固定制》	2	9	町田第一中学校		
難聴学級《巡回制》	1	5	町田第二中学校		
情緒障がい学級 《通級制》	12	98	町田第二中学校	町田第三中学校	小山中学校

② 特別支援教室

通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、カーム・ダウン（落ち着かせること）や相談を行うための専用の教室として、毎年小・中学校ともに1校ずつ特別支援教室を設置しています。2014年5月1日現在、小学校7校、中学校7校に設置しています。

（3）人的支援制度

特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍するLD（学習障がい）、ADHD（注意欠如・多動性障がい）、高機能自閉症等の児童・生徒も含め、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活、また学校の教育活動をサポートするため、次の人的支援を行っています。

○ 特別支援教育支援員

特別支援教室を整備した学校に配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 障がい児介助員

特定の特別支援学級などに配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 特別支援教育専門家チーム

学校からの求めに応じ、大学教授などの特別支援に関する専門員（9名）が、学校に出向き、事例相談や校内研修での特別支援教育に関する講義などを行っています。

事例相談では学校に対し、特定の特別な支援を必要とする児童・生徒について、発達障がいの状況や課題に関して見解を示したり、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行ったりしています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な支援を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、児童・生徒への指導や、管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言を行います。

また、特別な支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育巡回指導員

心理系の大学院生や既卒者である指導員を月に2～4回学校に派遣し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒に対する指導補助を行うとともに、心理的側面からの支援方法を学校と協議します。

○ 特別支援学級専任相談員

通常の学級に在籍し、特別な支援が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級の指導内容や方法について必要な助言を行います。

(4) 連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。

2013年度 実績

行事名	実施日	人数	場 所	備 考
町田の丘学園 交流会	5月9日	245人	町田の丘学 園体育館	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が一堂に会し、交流しています。
町田市中学校 連合マラソン大会	11月1日	250人	陸上競技場	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が、障がいの程度に応じて参加しています。
スポーツ交流会	2月7日	200人	総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。

(5) 副籍制度

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

副籍制度によって、地域指定校の学校行事や授業等への参加などの直接的な交流や、学校便りや学級便りの交換などの間接的な交流が行われています。交流の内容は、保護者の希望をもとに、都立特別支援学校と地域指定校との間で相談して決定します。



6. 教育相談等

すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、人間性豊かに成長するよう、いじめや不登校、子育てに伴う保護者の悩みなどの教育上の問題について、児童・生徒、保護者、学校等に対し、様々な支援・指導を行っています。

(1) 教育相談

児童・生徒及び幼児の様々な教育上の問題について、専門の相談員が児童・生徒、保護者、学校・保育園・幼稚園関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、いじめ、体罰、集団不適応、友人関係、発達の問題、学習に関すること、生活面に関することなどですが、その他子どもの教育に関するあらゆる相談に応じています。

また、2013年度から小・中学校全校に配置されたスクールカウンセラーが、家族や友人関係、学習や進学等の様々な悩みに関して、児童・生徒の相談に応じたり、児童・生徒の教育上の問題について保護者の相談に応じたりしています。

その他、学校だけでは支援が難しい課題を抱える児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが、社会福祉の専門的知識・技術を活用し、児童相談所、福祉事務所等の様々な関係機関と連携して、問題の解決に向けた支援を行っています。

専門の相談員による教育相談

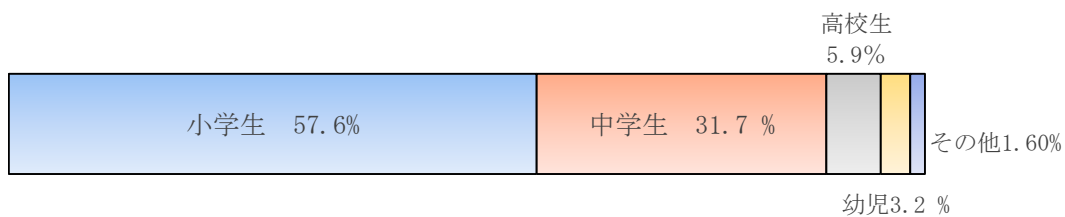
区 分	相談日時	場所	担当	問い合わせ・予約
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前8時30分～正午 午後1時～午後5時 ※ 予約制	教育センター	教育 相談員 (心理)	792-6546
出張教育相談	「広報まちだ」にてお知らせ ※ 予約制	市民センター (なるせ駅前、 南、鶴川、忠生*、 堺、小山)	教職 経験者	
電話による 教育相談	月～金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時30分		教職 経験者	792-6548

※2013年度は山崎小学校にて実施

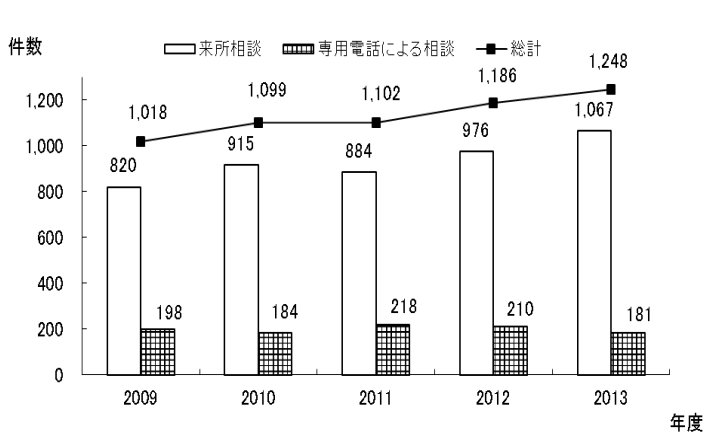
2013年度 相談件数

相談内容	来所相談（出張相談含む）					電話 相談	合計 (件)
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	0	141	198	43	7	38	427
発達障がい	7	224	53	3	0	27	314
育て方等	1	5	8	5	0	13	32
落ち着きなし	6	74	10	0	0	10	100
いじめ	0	4	2	0	0	12	18
学校等との関係	0	8	4	2	1	19	34
進路	4	7	6	1	1	10	29
知的発達	2	53	15	0	1	4	75
友人関係	0	8	3	0	0	13	24
反社会的行動	1	19	12	2	1	7	42
その他	10	67	39	4	5	28	153
合計	31	610	350	60	16	181	1248

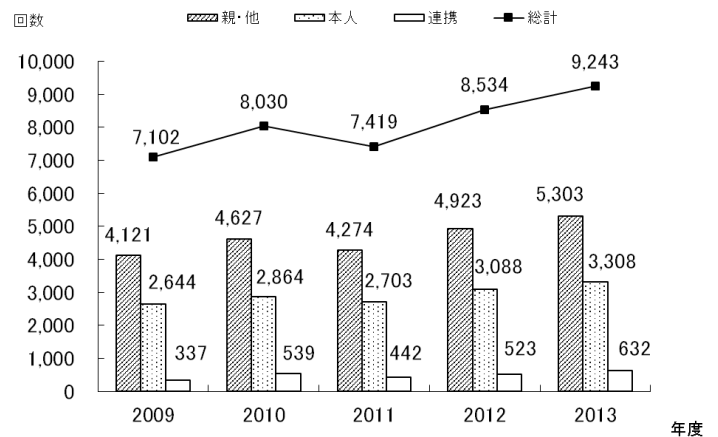
相談の対象年齢別割合（2013年度）



相談件数の推移



相談回数（延べ）の推移



(2) 不登校児童・生徒支援

① 適応指導教室

小・中学校に在籍する児童・生徒の中には、心理的な要因により不登校又は不登校の傾向にある児童・生徒がいます。教育委員会では、そのような児童・生徒の学校復帰に向けた支援を目的として、2003年度から小学校適応指導教室（けやき教室）を、2013年度から中学校適応指導教室（くすのき教室）を設置しています。

開設時間は、月曜日から金曜日の午前9時から午後3時までです。社会性・協調性を育てるための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整、自信を取り戻すための励ましなど、児童・生徒の状況に応じて、保護者と相談の上、具体的な指導内容を決めて指導を行い、学校復帰に向けた支援を行っています。

けやき教室通室児童数

年 度	人 数 (人)
2009 年度	13
2010 年度	10
2011 年度	12
2012 年度	14
2013 年度	13

くすのき教室通室生徒数

年 度	人 数 (人)
2013 年度	16

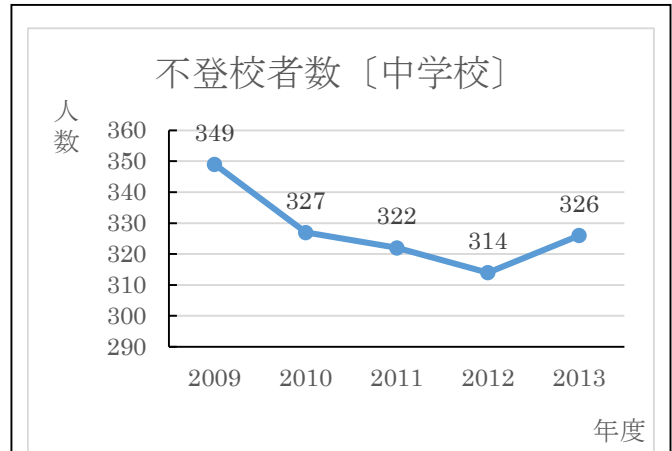
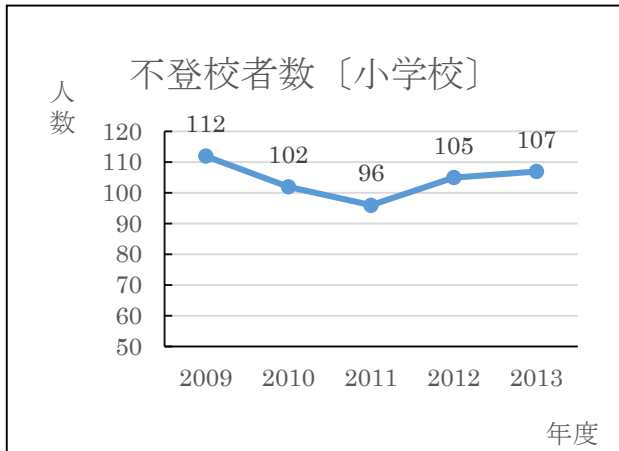
② 「e-ラーニング」による学習支援

不登校児童・生徒への対応のための事業として、2007年度から桜美林大学と連携して、e-ラーニングによる学習支援を行っています。これは、不登校の児童・生徒が自宅等のパソコンを使い、インターネット上のドリル学習を進めるプログラムです。

2013年度は、児童・生徒、保護者の希望により13名分のID・パスワードを配付しました。



不登校児童・生徒数の推移（過去5年間）



（3）まちだ JUKU

学習の妨げとなる暴力行為を繰り返す生徒に対し、一定期間、個別指導を行うことにより、当該生徒の問題行動を改善するとともに、健全な学校生活を送ることができるよう支援することを目的として、2013年度にまちだ JUKU を開設しました。

まちだ JUKU は、問題行動を繰り返す生徒が在籍する中学校の校長からの要請に応じて、まちだ JUKU 専門チームの指導員を中学校に派遣し、在籍校の教員と一緒に一人一人の生徒に対して個別学習・カウンセリングなどを、原則として1週間行います。



7. 家庭・地域と連携した学校づくり

家庭・地域・学校が連携・協働し、地域の資源などを生かした教育活動を推進するために様々な取組を推進しています。

(1) 学校支援地域理事・スクールボード校

地域での学校支援の機能を高め、効果的かつ円滑な学校運営を行うため、小・中学校各校に学校支援地域理事を配置しています。学校支援地域理事は、教育活動の支援、学校評価、地域や保護者と学校職員との連絡調整業務を行っています。この学校支援地域理事を設置する学校をスクールボード校と称しています。

(2) 学校支援ボランティア

① 学校支援センター

家庭・学校・地域が協力して子どもを育てていく“しくみ”をつくるため、町田市学校支援センター事業を実施しています。

学校支援センターでは、学校支援ボランティア活動の総合窓口として、地域ボランティアの学校支援活動を推進するとともに、各校に配置されているボランティアコーディネーターの活動支援及び活動の活性化を図るための研修・ミーティングを実施しています。

また、学校支援センターが事務局となり、各校のボランティアコーディネーター、市内連携団体の代表、学校長の代表が情報交換をするための場である「学校支援連絡会」を実施しています。

② ボランティアコーディネーター

学校と地域ボランティアとのかけ橋となるボランティアコーディネーターは、学校のニーズに応じ、必要な学校支援ボランティア人材の手配及び調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行います。

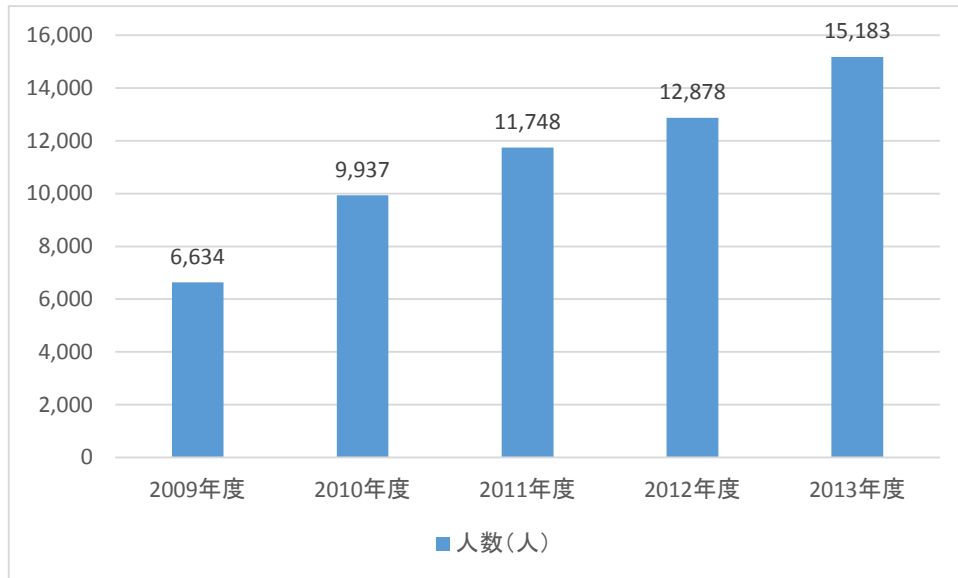
③ 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアとは、学校の教育活動に地域の教育力を活かすため、ボランティアとして学校をサポートする保護者、地域の方々、学生、団体及び企業などのことです。このボランティアの力を教育活動に積極的に生かして「地域とともに子供を育てる」取組を実施しています。

学校支援ボランティアは、国語、算数・数学などの教科や、道徳、総合的な学習、特別活動等での学習活動、食育、環境学習、キャリア教育、授業中の学習補助、放課後学習をはじめ、委員会・クラブ・部活動指導、農業体験等の体験活動、学校花壇の整備、登下校安全指導といった、学校ニーズに対応した幅広い分野で学校の教育に携わっています。

2013年度の学校支援ボランティア活動者数は15,183人で、前年度に比べて2,305人増加しています。

学校支援ボランティア活動者数の推移（過去5年間）



8. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。

対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2013年度 支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要※	準※	学年	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	3,045	37,649	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,759	39,080	
入学準備金	×	○	小1年	394	7,840	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中1年	550	12,595	
修学旅行費 (中学校)	○	○	中3年	671	30,257	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	○	○	小全学年	3,106	7,419	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,610	4,321	
夏季施設費	○	○	小5・6年	1,236	22,140	小学5年生（移動教室を含む）、6年生（夏休み中に実施のもの）、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	632	22,605	
通学費	○	○	小全学年	63	1,632	通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。
			中全学年	68	3,473	
給食費	×	○	小全学年	3,035	119,656	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
			中喫食者のみ	834	26,998	
医療費	○	○	小全学年	50	160	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	19	111	
体育実技用具費	×	○	中全学年	222	497	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費

※要・・・要保護者

準・・・準要保護者

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額（過去5年間）

年度	5月1日現在在籍 児童・生徒数(人)		認定者数(人)		受給率	援助総額(千円)
			要保護	準要保護		
09	小学校	23,672	329	3,027	14.2%	196,348
	中学校	9,399	222	1,571	19.1%	131,480
10	小学校	23,968	388	3,192	14.9%	203,817
	中学校	9,626	232	1,733	20.4%	146,145
11	小学校	23,811	397	3,341	15.7%	202,638
	中学校	9,931	255	1,760	20.3%	146,532
12	小学校	23,672	357	3,131	14.7%	203,301
	中学校	10,258	270	1,767	19.9%	143,419
13	小学校	23,539	359	2,987	14.2%	196,499
	中学校	10,565	282	1,733	19.0%	139,940

(2) 通学費補助制度

通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

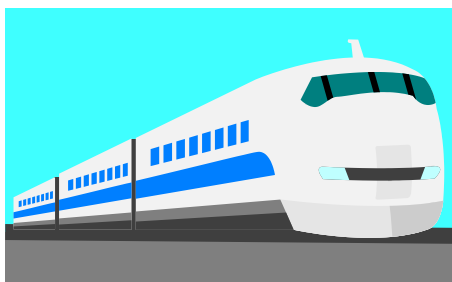
なお、1か月の定期代の1/2だった補助率を、2013年度から2/3に引き上げました。



(3) 校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学5・6年生 中学1・2年生	移動教室等にバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学3年生	修学旅行に交通費を補助しています。
社会科見学	小学3年生	市内施設等を中心とした社会科見学にバスを配車しています。



(4) 奨学金制度

町田市では、「町田市奨学資金支給条例」を制定し、有用な人材を育成するため、高等学校または高等専門学校へ進学する方に、修学上必要な学資金を支給しています。

制度の概要

資格	<ul style="list-style-type: none"> ・支給の日の1年前から引き続き市内に住所を有する保護者の子であること。 ・東京都内または神奈川県内に所在する高等学校等に在学すること。 ・成績優秀であること。 ・経済的理由により、修学が困難であること。 ・同種の奨学金を他から支給又は貸与等されていないこと。
支給	<ul style="list-style-type: none"> ・支給金額（2013年4月1日現在） 8,700円以内（月額） ・採用人員 50名以内（募集対象は新高校1年生）

(5) 特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。

保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2013 年度 支給費目別支給額実績

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	180	2,185	101	2,271	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金	19	378	32	732	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (中学校)	-	-	32	1,446	生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	169	582	100	359	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
夏季施設費	62	1,026	29	1,021	小学5年生(移動教室を含む)、6年生(夏休み中に実施のもの)、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	192	1,633	109	2,829	通学にかかる費用の実費(ただし上限あり)の補助(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
給食費	177	6,774	62	1,826	児童・生徒の給食費として、保護者が実際に負担した経費
職場実習交通費 (中学校)	-	-	5	8	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	27	5,980	172	232	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	302	2,284	175	3,605	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	12	577	4	97	通学に際し、児童・生徒に付添って保護者がバス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
脳波検査料	1	1	1	6	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額

9. 学校給食

小学校の学校給食は、1947年12月に町田小学校（現町田第一小学校）で週1回のみそ汁給食から始まりました。1955年から徐々に完全給食に移行し、1963年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。現在、小学校42校で単独校方式の完全給食を実施しています。中学校においては、弁当併用外注方式により、給食を希望する生徒に対し業者が調理した給食を提供しています。武蔵岡中学校については、2012年度に大戸小学校と小中一貫校化（小中一貫ゆくのき学園）されたことに伴い、自校調理による完全給食を実施しています。

（1）指導目標・栄養管理・学校給食摂取基準

① 学校給食の指導目標

現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食の指導では、食事の正しい在り方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童・生徒の心身を健全に発達させることなどを目標としています。

② 学校給食の栄養管理

栄養管理は、国の学校給食摂取基準をもとに行っています。

献立は、小学校では各学校の栄養士が、中学校では教育委員会事務局の栄養士が作成しています。

③ 学校給食摂取基準

厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」を参考とし、その考え方を踏まえるとともに、文部科学省が2007年度に行った「児童生徒の食生活等の実態調査」や独立行政法人日本スポーツ振興センターが行った「平成19年度児童生徒の食事状況調査」等の結果を勘案して、児童・生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出したものです。この基準は児童・生徒の1人1回あたりの全国的な平均値を示したものであり、適用に当たっては、個々の児童・生徒の健康状態や生活活動の実態並びに地域の実情等を十分に配慮し、弾力的に適用することとされています。

児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準（平成25年1月30日文科科学省告示第10号による）

区分	栄養量			
	6～7歳	8～9歳	10～11歳	12～14歳
エネルギー(kcal)	530	640	750	820
たんぱく質(g)	20	24	28	30
範囲	16～26	18～32	22～38	25～40
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満
カルシウム(mg)	300	350	400	450
鉄(mg)	2	3	4	4
ビタミンA(ugRE)	150	170	200	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	20	25	35
食物繊維(g)	4	5	6	6.5
マグネシウム(mg)	70	80	110	140
亜鉛(mg)	2	2	3	3

④ 食品構成

学校給食では、多様な食品を適切に組み合わせ、食事内容の充実を図っています。また米を主食としたバランスの良い食事や伝統的な食文化の継承についても配慮しています。

2014年4月時点の町田市の食品構成（小学校中学年）

種類	米	パン						小麦粉及びその製品	芋及びでんぷん	砂糖類	豆もどし(干3)	豆製品	種実
		小麦	イースト	食塩	ショートニング	砂糖類	脱脂粉乳						
(g)	55	7.5	0.2	0.1	0.24	0.24	0.24	8	38	3.5	6	15	1.2

種類	緑黄色野菜	その他の野菜	くだもの	きのこ	藻類	魚	小魚	肉類	卵	牛乳	乳類	油
(g)	30	80	32	3.5	2	14	2	14	5	206	2	4

（２）衛生管理

学校給食は、安全性の確保に特に注意し、町田市保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や調理員等の研修会等を開催しています。1973年度からは食品の細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。また、現在は給食室のドライ運用を進めています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（３）食物アレルギー対応

① 小学校給食における食物アレルギー対応の手引き

近年増加傾向にある食物アレルギーをもつ児童に適切に対応できるよう「小学校給食における食物アレルギー対応の手引き(改訂版)」を2013年10月に策定しました。

この手引きは、小学校給食における食物アレルギーをもつ児童への対応手順を改めて整備するとともに、教職員一人一人が食物アレルギーに関する正しい知識をもち、緊急時には適切に対応できるよう作成したものです。

(4) 町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、1983年4月に市民の直接請求に応じて設置されました。この協議会は、町田市の学校給食の望ましい在り方を確立するために、食事内容、食品の安全性、食生活の在り方、給食費等の諸問題を協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

町田市給食問題協議会の答申（過去10年間）

答申名	日付	内容（骨子）
町田市立中学校給食実施計画について －答申－	2004. 3. 19	「町田市立中学校給食実施計画」に基づいた中学校給食の実施を求める提案。
小学校給食における食物アレルギーの対応について －答申－	2012. 12. 18	小学校給食における食物アレルギー対応を実施するにあたり、対応検討の流れを統一することや、対応の判断基準等を提案。
学校給食費の改定について －答申－	2013. 9. 26	給食費について、文部科学省が定める「学校給食実施基準」を満たすとともに、安全で安心な給食を提供することができるよう給食費の改定を提案。
町田市における小学校給食の望ましい在り方 －答申－	2014. 3. 4	これまで構築してきた小学校給食の実施内容を継続していくことを求めるとともに、今後の重点事項等を提案。

10. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていくことを目的としています。

(1) 定期健康診断

全児童・生徒を対象とした定期健康診断を毎年4～6月に実施しています。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

① 各種診断・検査

2013年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年 齢 項 目	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
			身長 (cm)	男	町田市平均	116.2	122.5	127.7	133.3	138.6	144.8
都平均	117.1	123.2			128.8	133.9	139.9	145.7	152.5	159.9	165.6
全国平均	116.6	122.4			128.2	133.6	139.0	145.0	152.3	159.5	165.0
女	町田市平均	115.5		121.3	127.1	133.1	139.6	146.8	152.0	155.2	156.8
	都平均	115.9		121.9	127.6	134.3	140.4	147.3	152.0	155.3	156.7
	全国平均	115.6		121.6	127.3	133.6	140.1	146.8	151.8	154.8	156.5
体重 (kg)	男	町田市平均	21.1	23.6	26.7	29.9	33.2	37.6	42.6	47.8	53.3
		都平均	21.5	24.0	27.4	30.6	34.8	38.9	43.9	49.1	54.3
		全国平均	21.3	23.9	27.1	30.4	34.3	38.3	43.9	48.8	54.0
	女	町田市平均	20.7	23.2	26.0	29.2	33.3	38.2	43.6	46.5	49.1
		都平均	21.0	23.5	26.1	30.1	33.8	39.0	43.5	47.0	50.0
		全国平均	20.9	23.5	26.4	30.0	34.0	39.0	43.7	47.1	49.9
座高 (cm)	男	町田市平均	64.5	67.4	70.0	72.5	74.8	77.5	80.6	84.6	87.7
		都平均	65.1	67.9	70.6	72.7	75.3	77.9	81.3	85.0	88.2
		全国平均	64.8	67.6	70.2	72.6	75.0	77.6	81.2	84.8	88.1
	女	町田市平均	64.3	67.0	69.6	72.5	75.6	79.1	81.8	83.6	84.9
		都平均	64.5	67.3	69.9	73.0	76.0	79.5	82.1	83.9	84.8
		全国平均	64.4	67.3	69.9	72.8	75.8	79.3	82.1	83.8	84.9

※都平均・全国平均は文部科学省実施「平成25年度学校保健統計調査」の結果より



2013年度 定期健康診断疾病状況

項 目		男		女		備考	
		小	中	小	中		
在 籍 者 数		12,079	5,488	11,398	5,081		
受 診 者 数		12,050	5,386	11,365	4,982		
栄養 状態	(1)栄 養 不 良	1	0	0	0		
	(2)肥 満 傾 向	184	33	108	17		
脊柱 胸部	(1)脊柱側わん症・脊柱異常	20	28	27	38		
	(2)胸 郭 異 常	13	14	8	2		
視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	11,882	5,033	11,123	4,466	
		(1)1.0以上	8,667	2,742	7,490	1,903	
		(2)1.0未満 0.7以上	1,256	580	1,362	525	
		(3)0.7未満 0.3以上	1,178	760	1,352	858	
		(4)0.3未満	781	951	919	1,180	
	裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者	861	971	1,071	1,335		
眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者		162	285	231	496		
眼 疾患	受 診 者		12,006	5,369	11,297	4,963	
	(1)伝染性眼疾患		3	1	1	0	
	(2)アレルギー性眼疾患		329	283	272	244	
	(3)その他の眼疾患		230	60	177	47	
聴力	受 診 者		7,827	3,697	7,433	3,373	
	難 聴		59	15	57	12	
耳鼻 咽喉 疾患	受 診 者		12,018	5,373	11,356	4,964	
	(1)耳疾患		1,025	379	985	243	
	(2)ア アレルギー性鼻疾患 イ その他の鼻・副鼻腔疾患		1,249	831	786	562	
	(3)口腔咽喉頭疾患		38	6	53	7	
皮膚 疾患	(1)伝染性皮膚疾患		9	0	2	0	
	(2)アレルギー性皮膚疾患		506	219	430	180	
結核	受 診 者		12,058	5,415	11,385	5,006	
	(1)結核患者		0	0	0	0	
	(2)精密検査対象者		17	6	20	3	
心臓	受 診 者 (心電図検査)		1,927	1,868	1,836	1,701	
	(1)心臓疾患		96	27	82	11	
	(2)心電図異常		20	29	15	33	
検尿	受 診 者		12,064	5,418	11,383	5,000	
	(1)尿蛋白検出		48	265	111	136	
	(2)尿糖検出		12	4	12	8	
寄生 虫卵 保有	受 診 者		5,801		5,543		
	寄生虫卵保有者		7		1		
その 他	(1)気管支喘息		790	316	510	176	
	(2)腎臓疾患		18	8	10	7	
	(3)その他の疾病・異常		114	57	92	47	
歯科	(1)歯科受診者		12,039	5,376	11,365	4,998	
	・要観 察歯	乳歯又は永	ア 処置完了者	3,486	1,169	3,121	1,250
		久歯のう歯					
		ウ 永久歯のう歯経験者	1,839	2,074	1,890	2,160	
		エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者	1,013	844	1,221	943	
	(3)歯肉 の状態	ア 歯周疾患	176	228	110	91	
		イ 歯周疾患要観察者	1,221	855	904	551	
	(4)歯列・咬合の異常		313	239	378	194	
	(5)顎関節の異常		2	7	3	4	
	(6)その他の歯・口腔の疾病・異常		133	25	173	3	
(7)永久歯の う歯の内容 (小学校第6学年及び 中学校第1学年のみ)	ア 未処置歯数(D)	362	702	459	667		
	イ う歯による喪失歯数(M)	0	2	0	4		
	ウ 処置歯数(F)	752	1,106	878	1,203		

② 結核検診

2003 年度から小・中学校の児童・生徒全員の中から問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、必要な場合に重点的に精密検査を実施しています。

2013 年度 結核検診状況 (人)

区 分	対象者	問診調査 実 施 者	精密検査対象者数		精密検査受検者数			結果 異常の あった 者
			X線撮影	ツベルクリン 反応検査	X線撮影	ツベルクリン反応検査 X線撮影		
小学校	23,539	23,434	38	0	36	0	0	0
中学校	10,565	10,359	7		6			0
合 計	34,104	33,793	45	0	42	0	0	0

③ 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員と校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に、心電図による検査を行っています。

2013 年度 心臓検診状況 (人(%))

区 分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診者数
小学校 (1年生)	3,782	3,769	3,672	66	30 (0.8)	29	3
〃 (その他)	19,757	61	51	0	6 (9.8)	6	3
小学校 小計	23,539	3,830	3,723	66	36 (0.9)	35	6
中学校 (1年生)	3,590	3,565	3,457	28	75 (2.1)	69	7
〃 (その他)	6,975	64	51	1	6 (9.4)	6	0
中学校 小計	10,565	3,629	3,508	29	81 (2.2)	75	7
合 計	34,104	7,459	7,231	95	117 (1.6)	110	13

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

④ 尿（腎臓）検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2013年度 尿検査状況 (人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	23,539	23,506	427 (1.82)	403	143 (0.61)
中学校	10,565	10,439	685 (6.56)	642	203 (1.94)
合計	34,104	33,945	1,112 (3.28)	1,045	346 (1.02)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

⑤ ぎょう虫検査

小学校の低学年（1年生～3年生）の児童に実施しています。

2013年度 ぎょう虫検査状況 (人(%))

区分	一次検査			二次検査	
	対象者	被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	11,377	11,375	8 (0.1)	8	1 (0.0)

※陽性者率は一次被検査者数に対するもの

⑥ 貧血検査

中学1年生の女子全員及び2～3年生女子のうち校医が必要と認めた者を対象に実施しています。

2013年度 貧血検査状況 (人(%))

区分	対象者	被検査者	異常なし	要 経過観察 精密検査
中学校 1年女子	1,713	1,463	1,300	78 (5.3)
2年女子	1,678	46	28	15 (32.6)
3年女子	1,701	18	10	3 (16.7)
合計	5,092	1,527	1,338	96 (6.3)

※要経過観察・精密検査の比率は被検査者数に対するもの

(2) 学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、「学校環境衛生基準」に基づく各種環境衛生検査を実施しています。

<定期検査項目の例>

- ・換気及び保温等の検査（年1～2回）
- ・採光及び照明の検査（年2回）
- ・飲料水水質検査（年1回）
- ・プール水質検査（プール実施月に1回）

(3) 町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため、意見交換・表彰・研究発表・研修会の実施・機関紙の発行等の積極的な活動をしています。



(4) 日本スポーツ振興センター

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害共済給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2013年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況（人）	医療費の給付状況	
		給付件数（件）	給付額（円）
小学校	23,539	1,565	7,025,219
中学校	10,565	1,638	10,930,605
合計	34,104	3,203	17,955,824

※これらの数値は2013年度に日本スポーツ振興センターの給付決定があった件数と決定額です。

2012年度以前に発生した災害に対する給付も含まれています。